

2016 南ユタ大学短期プログラム 報告書

北海道教育大学函館校 地域協働専攻 3年 江戸 美莉亜

私は、海外は2回目でしたが英語圏は初めてだったため、なにもかもが新しい発見の毎日でした。

新千歳空港から韓国の仁川空港を経由し、ラスベガス空港へ。ラスベガスへ到着し、外に出たときはあまりの暑さにうなだれました。むしむしとはしないが、カラカラした暑さで、私たちの行くシーダーシティもこんな気温なのかな…と考えると、恐ろしいほど暑かったのを覚えています。しかし、予想とは裏腹に空港から4時間ほど車で移動しシーダーシティへ着くとそこは快適な気温で、北海道と大して変わらない、ちょうどいい感じの気温でした。毎日天気は良く、雨はほとんど降りません。朝・夜は少し肌寒く昼はとても暖かいです。しかし、大学内は冷房が効きすぎていて逆に寒すぎました。暑いと思って準備してきた服は半袖が多かったため、上に羽織るものや長袖を何着か持っていくことをお勧めします。



《空港にて16人のメンバーと》



《学校の風景》

シーダーシティは都会でもなく、田舎でもないところでした。店などがたくさんあるメインストリートも、巨大なスーパーマーケットのwalmart、スターバックスなども私の家からは車ですぐ、歩いて20分ほどで行ける距離にあり、あまり不便は感じませんでした。大学から少し歩くと、すぐメインストリートに行けるためショッピングやコーヒーを飲みに行ったり、食べ物を食べたりと都市ではなくゆったりとした街です。

大学生活の面では、授業は平日の午前9時から12時までの3時間（午前の授業）、13時から17時までの午後の授業があり、午前中は非常勤の先生がつき授業をしてくれました。私たちは、Bryce Canyonについてのプレゼンテーションや、小学校へ行って日本の文化について小学生の前でプレゼンテーションをしたり、与えられた教材について、実際に大学生が受けている普通の授業へ参加しプレゼンテーションをしたりしました。プレゼンテーションが多い午前の部に思いましたが、課外授業でハイキングに行ったり、ハロウィンパーティーをしたりと、イベントもしてくれました。午後はライティングの時間で、与えられたト

ピックについて自分の意見を述べるというものでした。その後はディスカッションの時間で、与えられたトピックについて今度は話すというものでした。午後は書く・話す力がついた活動でした。大学内では、日本語を話せるという外国の学生がたくさんいて、すぐに友達になれました。



《絵画を描いてくれたイタリア人と》



《日本語を話せるアメリカ人の友人2人》

今回は期間が短くなりたった約3週間でしたが、それ以上に得られるものが大きいことは間違いありません。様々なことを自分で体験するということはとても貴重なことだと思います。興味を持った方は、ぜひこのプログラムに参加してみてください。



《Bryce Canyonにて韓国・中国の学生と》



《Bryce Canyonからの景色》